いろはにほんプロジェクト

総本山　仁和寺

松　林　庵

松林庵（宿泊施設）　と　御殿　宸殿（文化体験の一例）のイメージ

真言宗御室派
総本山　仁和寺 (京都府京都市右京区御室大内33)

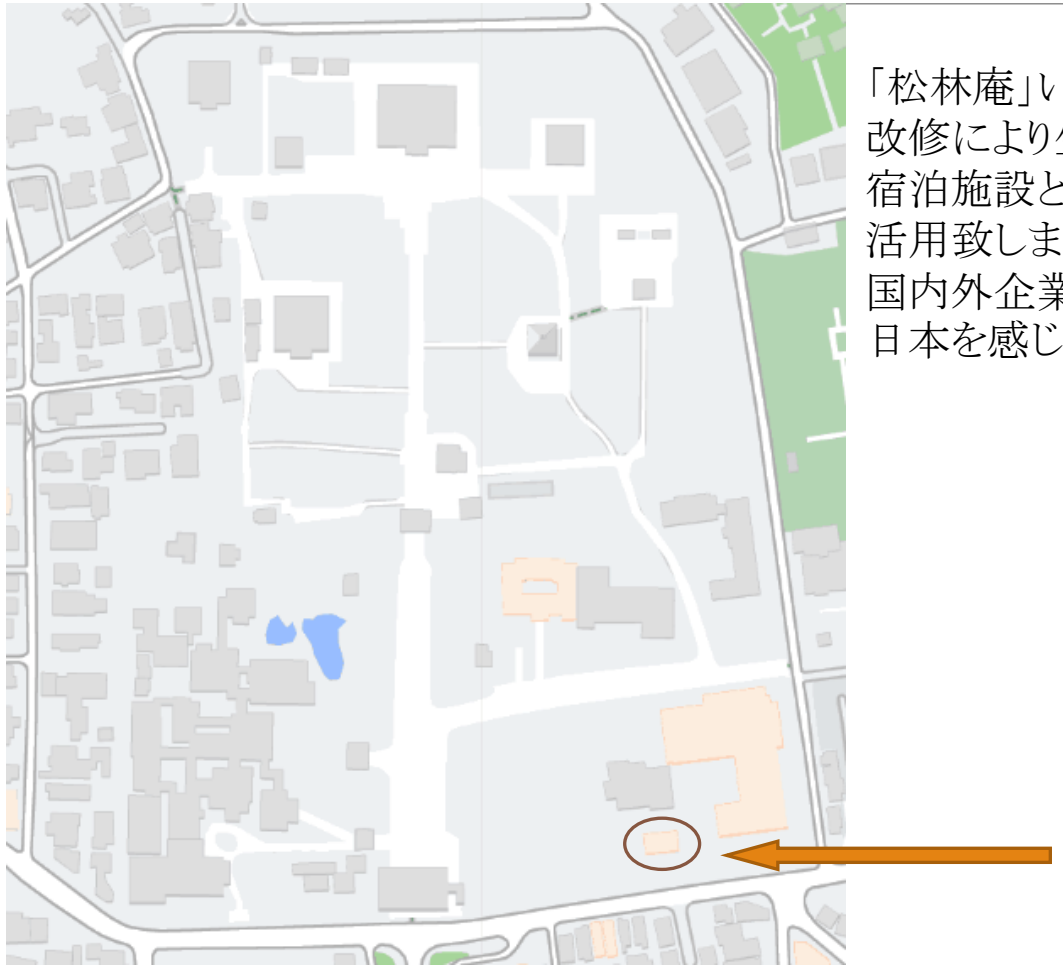
真言宗御室派仁和寺仁和四(888)年第５９代宇多天皇によって開創された仁和寺は、
天皇の御入室以後、1000年の間、明治の純仁法親王まで皇子、皇孫が仁和寺の門跡(住職)を
務められました。そのため、御室御所と呼ばれるようになり、門跡寺院の筆頭格として
現在まで法灯を守り続けてきました。

宇多天皇以降、皇族が歴代門跡に就任することによって、歴史上の人物、朝廷、文化人と緊密な関係を築き上げてきました。

特に平安時代の頃には、鎮護国家の道場としてだけでなく、貴族、また当代の有名歌人が集い、度々和歌会が開催されるなど、仁和寺文化と言われるまでの一大サロンを形成するに至っておりました。
また、『大鏡』『平家物語』『栄華物語』等々の有名な古典文学には、そのように密教を伝えるだけでなく、文芸、絵画、建築等、文化を発信する場としての御室御所の姿が描かれております。

松　林　庵

仁和寺境内に移築された旧家屋「松林庵」は、天保年間に御室八十八ケ所を開創された仁和寺御室御所の諸大夫であり、かつ御典医を兼ねた久富遠近守の子孫より昭和12年に寄贈れた建物で、簡素な趣ながら二階に個性的な茶室、水屋、広間を持つ数寄屋建築です。



「松林庵」いろはにほんプロジェクトは、
改修により生まれ変わった「松林庵」を、仁和寺での特別な体験と共に、
宿泊施設としてご利用頂き、上質な時間、空間をお過ごしいただく場として
活用致します。ターゲットは主として訪日外国人観光客をはじめ、
国内外企業のお客様を仁和寺ならではの文化体験を通して
日本を感じて頂く事を想定しております。

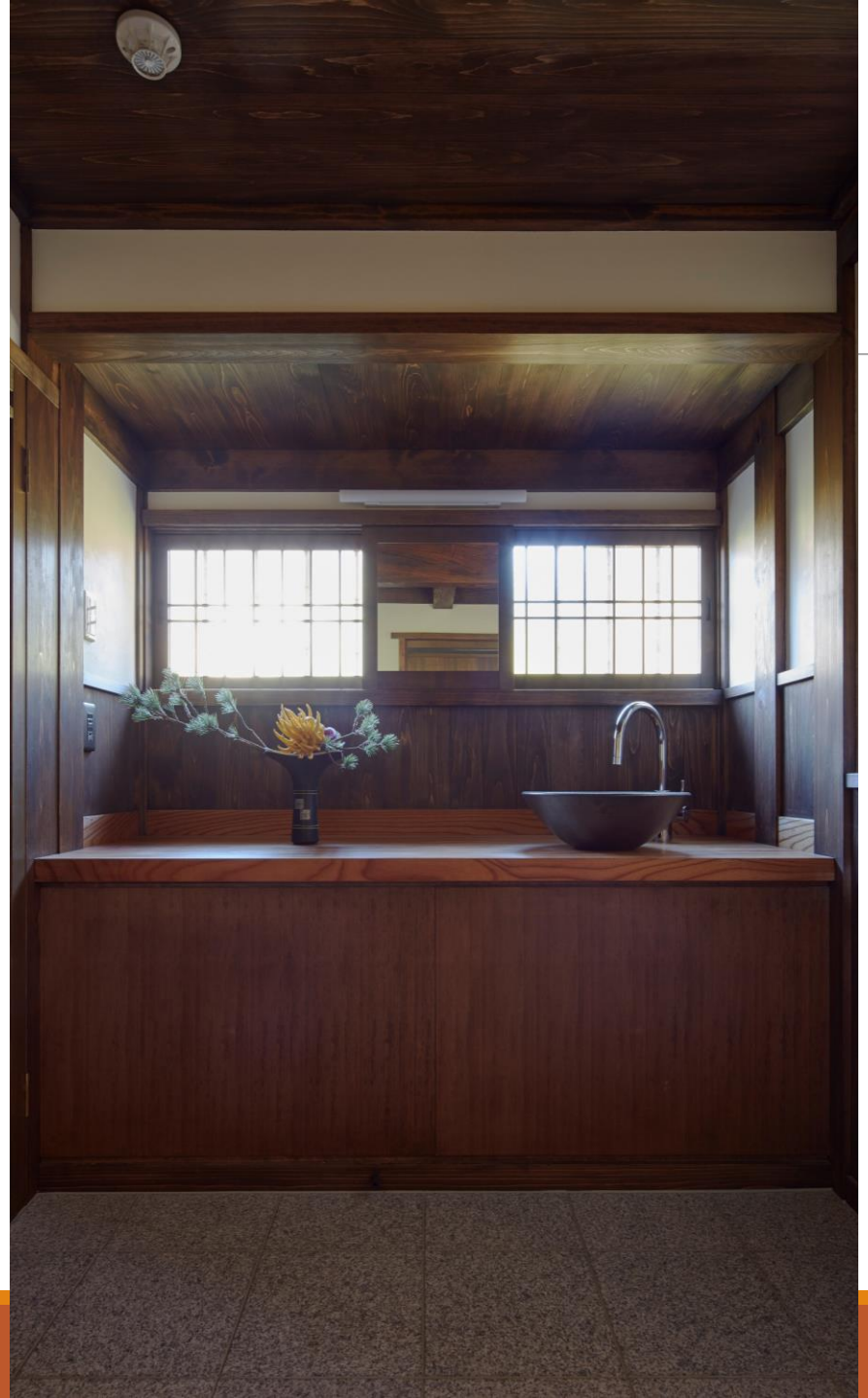
玄関

一階イメージ

二階イメージ

展示ブース（2階）

宿泊者のご希望に応じて、
仁和寺所蔵の什宝物を
展示いたします。



文化体験の一例　体験会場：御殿　宸殿

宸　殿

世界遺産仁和寺の境内にある御殿（約7000平米）、
その中でも通常、重要な儀式などでしか使用されることのない、
【宸殿】を文化体験のメイン会場として利用できます。

1100年をこえる仁和寺の歴史からエピソードを紐解き、松林庵宿泊者の希望に応じてアレンジし、仁和寺に纏わる歴史・文化・芸術の体験（雅楽演奏・舞踊・什宝物鑑賞・僧侶の声明・食事など）をご用意します。

会場イメージ

※これはレセプション時の
設営ですので、席が
多数となっております。

なお机と椅子もございます。

文化体験イメージ

※雅楽と華道

文化体験イメージ

※舞妓撮影会

文化体験イメージ

※お月見と声明